

議案第23号

代理の承認を求めることについて

教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和51年倉敷市教育委員会規則第10号）第2条第3項の規定により、令和元年度倉敷市教育委員会功労者表彰について、別紙のとおり代理したので承認を求める。

令和2年3月26日提出

倉敷市教育委員会

教育長 井上 正義

1 個人表彰・・・1名（追加）

川上 忠良 (S34. 5. 15 生) 倉敷市立 東 陽 中学校長	昭和57年4月、倉敷市立玉島西中学校に保健体育科教諭として採用され、倉敷市立倉敷第一中学校、倉敷市立新田中学校を歴任し、教科指導・学級経営・生徒指導・部活動など様々な面において卓越した指導力と、持ち前の行動力により、学校の中心となって活躍した。 熱意ある教育実践力や事務遂行力が高く評価され、平成15年4月に倉敷市教育委員会国体推進室国体運営課主任として赴任し、関係団体等との連絡調整に尽力するなどして、国体のスムーズな開催に大きく貢献した。平成18年4月から、倉敷市教育委員会生涯学習部生涯学習課の青少年育成センター所長に着任し、市内全域で多発する生徒指導事案に対して、迅速かつ的確な判断の元に学校への協力や支援を行うなど、児童生徒の健全育成に尽力した。 平成22年4月から、倉敷市立連島南中学校の教頭として赴任し、校長の補佐、校内の美化・施設の管理と充実に努めるとともに、保護者や地域の窓口となりスムーズな学校運営に寄与した。その後、倉敷市立西中学校教頭、倉敷市立多津美中学校教頭を歴任する中、教職員一人一人への配慮を忘れず、的確なアドバイスをするなど、相談役として頼られる存在であった。 平成27年4月から倉敷市立東陽中学校長に着任した。生徒数が800人を超える大規模校において、常に生徒・教職員・保護者の側に寄り添い、高い先見性と実践力で学校経営に邁進した。平成28年度から2年間にわたり、倉敷市教育委員会から生徒指導の研究指定を受け、「自己肯定感を高める学びの実践」を主題として研究を進め、学校全体による生徒指導体制を構築した。また、学校内の研究体制の充実に図ることにより、生徒の学力向上にも大きく貢献している。令和元年度、これらの実践により、岡山県教育委員会から優良実践校の表彰を受けた。 倉敷市中学校長会においても、副会長として常に建設的な意見で会を牽引し、よりよい教育活動の推進に努め、倉敷市の中学校教育の発展・充実に尽力した。
---	---